

## 佳作

### 「視覚障害の方との関わり」

登米市立横山小学校 六年 星 悠華<sup>ほし はるか</sup>

私は小さいころにお店で犬を連れてくる人を見かけて、（な  
んでお店の中に犬がいるのだろう？）と思っていました。年  
がたつにつれ、ペットの犬ではなく、視覚障害者を助ける盲  
導犬だということを知りました。

今回、福祉体験学習会に参加して、盲導犬の活動や活やく  
をもっと知りたいと思いました。

福祉体験学習会の一週間前、近くのショッピングモールで  
盲導犬のぼ金活動をしているところを見かけました。訓練士  
のとなりで大人しくすわっている二ひきの盲導犬がいました。  
そこで私は、

「今度、盲導犬がいる仙台訓練センターに行くのですが、会  
えますか？」

とたずねたところ、

「この盲導犬の名前はいちごです。多分いると思うので声を  
かけてみてください。」

と言われました。表情がおだやかな盲導犬はどんな訓練をし  
て視覚障害者の役に立っているのかなと考えました。

福祉体験学習会の当日がきました。（盲導犬ってどんな犬

種でもいいの？視覚障害者の体型によって、盲導犬の大きさは  
変わるの？訓練って厳しいの？）など、いろいろなことを  
考えながらし設に向かいました。

最初に、宮城県視覚障害者情報センターで、視覚障害者に  
ついての理解と、日常生活用具にはどんなものがあるのかに  
ついて学んできました。低視力で視覚障害者の方に、音声で  
録音した「耳で聞く」録音図書、触覚で分かる視覚障害者用  
の文字の点字図書を教えてもらいました。点字は、小学三年  
生のときに文章作りをしたので知っていましたが、録音図書  
のことは知りませんでした。

次に、盲導犬の理解と触れ合う体験、それから盲導犬の仕  
事、また、どんな犬種が多いのかを学びました。私がショッ  
ピングモールで見た、ラブラドルレトリバーという種類は、  
八割が盲導犬として活やくしているということが分かりまし  
た。実際に触れ合ってみると、人のように喜怒哀楽ははげし  
くなく、どんな状況でも冷静に判断しているところにおどろ  
きました。盲導犬にふさわしいのは、表情がおだやかで体に  
適した大きさ、人が大好きで人の仕事を楽しめる犬という理  
由にとっても納得しました。

視覚障害者の方には、全く目が見えない全盲の方と低視力  
の方がいます。また、生まれたときから目が不自由な人ばか  
りではありません。日常生活を過ごしている中で、病気や事

故等でと中から目が不自由になった人も多くいるそうです。私達もいつそういった状態になるか分かりません。

でも、今の日本では九百二十八頭の盲導犬が活やくして、まだまだ足りない状況だそうです。盲導犬の育成費用は、国からのほ助は全くなく、ぼ金が九十五パーセントを占めていると聞きとてもおどろきました。

そこで私達ができることは何かを考えてみました。外出先で白杖を持っている人や盲導犬と一緒に歩いている人を見かけたら、手伝うことがあるかを聞いてみることに、そしてぼ金活動を進んで協力することです。それを意識しながら生活をしていきたいと思えます。